

富良野通信 2008

富良野通信十六年目

10年からの富良野からのお便りも今年で十六年目に入りました。何とか続けて来られたのもひとえに皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。

第二回目の通信は一九九一年七月十一日、富良野は麓郷の「空知川 いかだ下り」の話題をお届けしました。「北の国から」の純くちも参加していた大会です。私もこのドラムをきっかけに富良野にもってきたわけですが最近富良野に移住してきた人たちは「北の国から」は見えないという。十年一昔、四捨五入で昔の時間の流れですね。「通信せいの後数年は「北の国から」の話題が登壇しました。九十六年にはホームページを開設。全国にお友達ができました。メロンのこと、鹿や狐など野生動物のこと、アイヌの話、愛犬たち、過疎の問題、などなど、なまら思いこきの話題で語り続けてきました。昨今の農業情勢は厳しさを増し農園もいつまで続けられるのかと心配しながらも一年一年粘ってまいりました。これから気合を入れなおしてがんばります。

市場開放 道新2008/1/10(木) 脂食農食の

日豪経済連携協定(EPA)交渉、緊く話ひ恐縮です。でも大事な話。新聞では「関税が完全撤廃された場合北海道の農家の三分の一が廃業する」との予想。関連産業含め4万7千人の雇用が失われる。と書いています。少くばかり大げさに割の出しているように思いますが、大同小異ではないか。その記事にはオーストラリア視察の様子が伝えられています。

道農産物通商が平成十九年九月豪州東部ヤングという町の農家を視察しています。約800ヘクタール(豪州平均の四分の一以下、道内平均の400戸分以上)の農家の管理コストは約300万豪ドル(26000万円)だという

で日本なら同じ規模で4億円がかかるという。日本農家がいくら努力しても無理なところがあります。生産品目にもよりますが単純に面積対管理コストを比較するのは乱暴な話ですが、あまりにも違いすぎ、お話しにならない。

これだけ安く生産できるから日本側は関税をかけて日本市場に輸入農産物を出回らないようにしているわけです。ちなみに小麦の関税率は210%です。これだけを考えれば日本の消費者は日本の農家を護るため高い小麦を買わなければならないと思います。ただこの問題になってくるのが食料自給率。「承知の通り日本では四十を切ると三十九%の自給率になります。日本側農水省試算では農産物関税全廃の場合、食料自給率は現在39%から12%」。豪州側は日豪大使館 全廃15年後でも対日輸出量は5%しか増加しない。日本側の試算(反論)安く買えるなら自給できれば問題はないのでいいか。毎日のように話したのを「温暖化」。日本向けに関税を下げ、または無償にしても小麦を売ると言っているオーストラリアは大豆ほどの脅威に晒されている。

USのシーストピーの度々干ばつ。06-07年「100年に一度の大干ばつ」だった。小麦生産量は60%減(前年比)。07-08年は4%減が見込まれると報じています。食料生産そのものが怪しくなっているように思えます。生産する国が自国の食料確保にシフトしたとしたり、今のお金を使ったとしてもいそいそと買ってくるかもしれない。私は農家で農家の立場ですが、消費者でもあります。パンも納豆も豆腐もその他もろもろ輸入に頼った食料を購入しています。その立場で物申せば本場にこの先心配です。

NPO法人「北海道食の自給ネットワーク」(札幌)事務局長のコメント「輸入食料に依存している限り、牛海綿状脳症(BSE)や鳥インフルエンザなどが起るとたびにパニックになる。消費者も自分の食を支えるためにしっかりと真剣に考えなくては」

金じゅうのうさぎ

田高・ドル安から投資マネーが金相場を押し上げていますね。調べてみました。

金の人類有史以来掘出し量は16万トン(小学校50教室程度)で大半は装飾用に使われているようですが、世界備蓄総量は3万トン→時価100兆円程度だそうなのでその程度は金「一喜一憂」している。ちなみにキヤンメル1粒で15万円(今はお高い)。



100歳バンザイ



某医療機関調査による「長生きアンケート」

百歳以上の対象・長寿の秘訣

血液型・B型

星座・射手座(12月生まれ)

職業・お坊さんと学校の先生

食事・好き嫌いなし

性格・頑固

生活習慣・マイペース

酒・タバコ・無理しなめないで、飲つておいて適度に

楽しむ

自分にあった楽しい趣味を持つ、くつろいで暮らす色んなこと

を

男性の長寿にもっとも大切なのは

オチャメでエッチな女

